

1. 南アルプス大井川源流部の環境とリニア中央新幹線について

出典・静岡市 水生生物への影響の代償措置について

水生生物への影響の代償措置の考え方

(リニア工事による影響)

トンネル掘削により、地下水位が低下し、沢の流量が減ることで、ヤマトイワナ等の水生生物の生息場所や個体数が減少する可能性がある。

「重点的な沢」かつ「流量減少が予測される沢」(悪沢、蛇抜沢、スリバチ沢)をはじめとする33の沢で流量や流況変化のモニタリングを行い、水生生物への影響を評価する。

(代償措置の方向性)

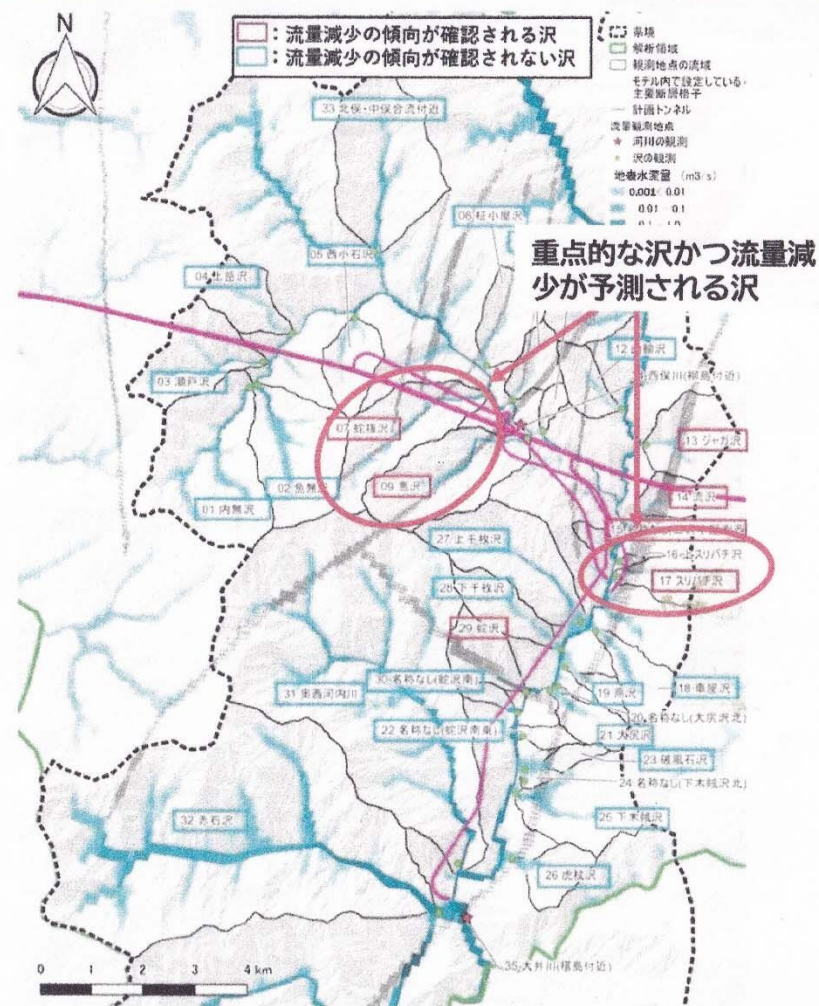
・これまでの動植物調査や、専門家への聞き取り等により、ヤマトイワナの生息域や、交雑種の生息域について確認する。

・現地調査により沢や周辺の生息環境を確認し、生息場所の保全方法を検討する。

・現状が続くと交雑は進み、ヤマトイワナの生息域が減少していくと予想される。

・リニア工事によるヤマトイワナの生息数の減少を上回る形で代償措置を実施する。

・流量減少の可能性が低く、交雑が進んでいないと予測される場所について、交雑を防止しつつ、ヤマトイワナの生息環境の保全を行うことが、代償措置として有用かつ機能すると考えられる。



トンネル、主要な断層、沢流域の位置関係

出典：第27回リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議(2023.11.7)P3-35
静岡市が一部追記(赤丸)

2. 自然災害と気候変動について

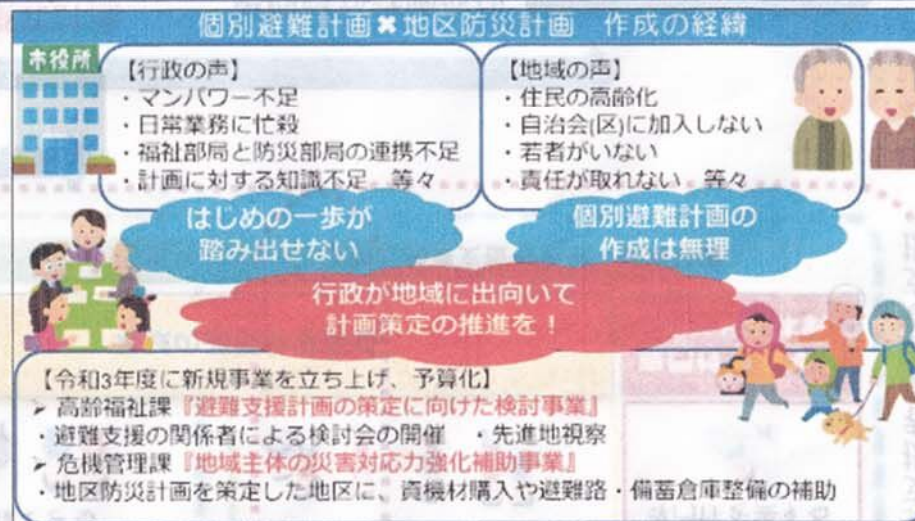
宮崎県延岡市 個別避難計画・地区防災計画

宮崎県 延岡市

取組の経緯、作成に向けた決意

資料 6

- **みんなで決めて、みんなで逃げる**
住民主体の防災
 ➤ **逃げ遅れゼロのまちを目指そう！**



個別避難計画作成推進体制～検討委員会の設置～

- ・避難行動要支援者の現状確認
- ・福祉専門職との調整
- ・『専門職と作る個別避難計画』の作成支援
- ・地域調整会議の開催

- ・避難行動要支援者の災害リスク確認
- ・地域（区・民生委員など）との調整
- ・『自分・地域で作る個別避難計画』の作成支援
- ・『個別避難計画』全体の作成支援

健康福祉部

- ・高齢福祉課
- ・介護保険課
- ・生活福祉課
- ・こども家庭課
- ・障がい福祉課
- ・健康増進課
- ・健康長寿のまちづくり課
- ・地域医療対策室

総務部

- ・危機管理課

検討委員会

【関係団体】

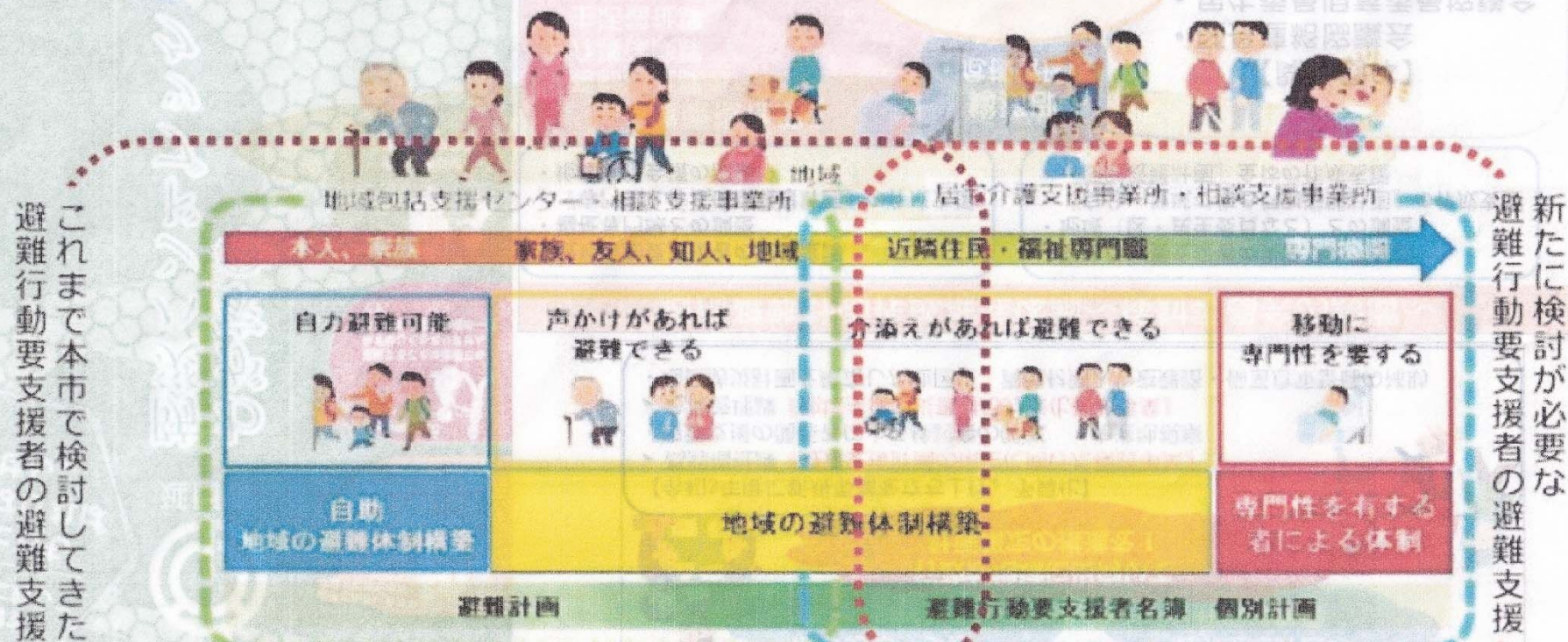
- ・区長連絡協議会
- ・民生委員児童委員協議会
- ・社会福祉協議会
- ・自主防災組織連絡協議会
- ・介護支援専門員連絡会
- ・障がい者自立支援協議会
- ・医師会

- ・自主防災組織、消防団との調整

- 消防本部
- ・警防課
- ・消防団係

【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

避難行動要支援者3,859人を「青」「黄」「赤」の3つに分類し計画を作成します。



本人・家族が計画作成
(仮称) 自分で作る個別避難計画

地区で計画作成

(仮称) 地域で作る個別避難計画

専門職が計画作成

(仮称) 専門職と作る個別避難計画

【② 個別避難計画と地区防災計画の連携】

個別避難計画と地区防災計画の連携イメージ図

